

「2020年度 学校関係者評価結果報告書」の公表について

2020(R02)年度における当校の学校関係者評価を行いましたので、その結果報告書を公表いたします。
 評価委員の皆様からいただいた改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご指導を賜りつつ、それぞれについて改善や工夫を図り、学校運営・教育活動の更なる向上をめざします。今後も、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

評価項目	2020年度 自己点検評価		学校関係者評価結果 (自己点検評価の適正について)	
	評価平均	概要説明	適正度	ご意見
1 教育理念・目標	3.2	現状 数値的には横ばいであり、改善の余地がある。教育理念や、指導方針は明確化されているが、教員の中に浸透しているレベルではないだろう	適正度 3.0	ご意見 ・今年の目標を作る ・方針は、継続的に日常的に確認することで浸透
		改善策 年頭などに1年間の方針などを明確化して、常に確認する必要がある		
2 学校運営	2.8	現状 大きく変化はないが、財務体質弱い傾向は変わらない	適正度 2.6	ご意見 ・教員数を増やしてほしい ・学生数の増やし方が課題なのでしょう ・兼務にならないよう、負荷分散を目指して
		改善策 指揮をとっている方は、職場での業務全体を把握しておく必要がある		
3 教育活動	3.3	現状 各項目の中では高い数値を示しているほうだが、仕事の偏り、教育以外の仕事量の多さなど、一部のみに仕事が集中している。	適正度 3.2	ご意見 ・コロナと自転車結び付けられないか ・教員の負荷分散が必要でしょう
		改善策 スポーツバイク学科の職員体制の整備が必要		
4 学修成果	3.3	現状 卒業生や在校生の学外での活動把握ができていない	適正度 3.3	ご意見 ・オンライン教育では仕方ないが、実習授業の問題がある ・手間にはなるが、卒業生にアンケートを送ってみては ・同級会やOB会の活動支援
		改善策 卒業した学生とのコミュニケーションの充実が必要		
5 学生支援	2.9	現状 休学者と除籍者が2名ずついたことが評価を下げた可能性があるが、全体的には厳しめの評価の印象がある。	適正度 2.6	ご意見 ・コロナ禍でもあり、退学者はやむを得ない面があるかと ・就職後を見越した、マナー、身だしなみ、挨拶などの教育 ・今後の対策が必要
		改善策 学生の健康管理体制の見直しが必要か。外部カウンセラーの対応は済ましてある		
6 教育環境	2.9	現状 実習設備の不備がある	適正度 2.6	ご意見 ・設備は毎年変わるので難しい面も ・実習車は現行車が好ましい。学生のために定期的に行ってほしい。 ・少人数なので、学生各々に細かな指導、落ちこぼれを作らないことを期待
		改善策 スポーツバイク学科は2年かけて整備したが、自動車整備学科では、実習車が時代に合っていないため、強化の必要がある		
7 学生の受入れ募集	2.8	現状 学生募集活動の先生が教務と兼務している点に、問題を抱えているようだ。留学生からの募集からはひとまず撤退。	適正度 2.8	ご意見 ・コロナで外国人が入国できないようですね ・一番重要なところ、学生がいなくて何も始まらないので。 ・入学から就職まで地元で強いアピールの方法。地元企業との連携 ・将来を見越した募集活動を
		改善策 募集用職員の配置を行いたいところだが、人件費との兼ね合いがある。		

8 財務	2.7	現状	募集が好調だったためか、評価が上昇。	適正度	2.8
		改善策	スポーツバイシクル学科の募集活動がカギとなる	ご意見	・生徒数を増やすことで財務は好転します
9 法令等の遵守	3.1	現状	評価を下げることはなかった。	適正度	3.2
		改善策	さらに遵守に努めていく	ご意見	・学生のスキルの向上
10 社会貢献 地域貢献	2.9	現状	公共職業訓練とパブリシティの活動は行っているが、学生らのボランティア活動が不足していた。コロナ対応に追われた年となり、ボランティア活動が難しい面があったようだ。	適正度	2.8
		改善策	ボランティア活動を促す取り組みが必要であるが、年々各教員が多忙になっている点がネックとなっている。	ご意見	・コロナ禍なので来年以降か ・現在は厳しいが、今後に期待します。 ・外部との連携も視野に

学校関係者評価委員会実施日時:2021年3月16日(火) 16:00~16:30(コロナ対策のため、時間短縮で実施)

学校関係者評価委員

相澤 齊樹 アースシステム株式会社
赤羽 史彦 トヨタカローラ南信(株)
中村 吉保 (株)コスモ
中村 高司 (社)長野県自動車整備士振興会
東海林 正也 卒業生代表